

株式会社 松 屋 2026年1月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位: %)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-15.8	-6.4
② 銀座店	-16.3	-12.4
③ 浅草店	-2.8	5.0

- ① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移 (単位: %)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
銀座本店	-1.0	-9.1	-18.2	-22.1	-24.0	-25.7	8.0	2.4	-7.4	-2.2	-10.8	-15.8
松屋銀座	0.0	-8.3	-18.4	-22.6	-24.9	-26.3	8.5	2.2	-7.6	-1.2	-10.1	-16.3
松屋浅草	-19.2	-15.3	-12.0	-11.1	-6.3	-9.8	-3.4	4.7	0.0	-22.7	-20.1	-2.8

3. 店舗別商況

銀座店	1月の銀座本店の売上高は、前年に対して約16%減となりました。免税売上高については、日本への渡航自粛要請が要因となり中国からのお客様が減少、また、前年は1月末から春節が始まった(本年は、2/15~23)等の営業条件の差異も加勢し、その売上が過去最高を記録した2024年3月~2025年2月の期間における同月と比較すると約3割程度減少いたしました。一方で、台湾・韓国・タイをはじめとした他の国からのお客様は、円安の影響も受け売上を伸ばしています。また、免税売上高を除く国内のお客様の売上高につきましては、ラグジュアリーブランドが好調に推移(前年比約6%増)、また、婦人衣料品も同8%の伸びを示したことで、全体では前年と同程度の売上を確保いたしました。今後も、引き続き、幅広い国々からのお客様への対応に注力しながら、基盤となる国内客への来店促進策を含めた各種施策による売上拡大が重要となります。
-----	---

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位: %)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	2.4	1.8
婦人服・洋品	-2.2	-2.3
子供服・洋品	-2.8	-2.8
呉服寝具他	-44.0	-46.5
衣料品計	-4.2	-4.5
身廻り品	-25.1	-25.1
雑貨	-4.3	-4.3
家具	18.4	18.4
家電	167.7	167.7
家庭用品	9.0	9.1
家庭用品計	21.4	21.5
食料品	-5.6	-6.6
食堂・喫茶	-3.2	-3.5
サービス、その他	-26.0	-26.1
合計	-15.8	-16.3

※「2026年2月上速報」は、2026/3/2(月)16時の開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松 屋 総務部コーポレートコミュニケーション課

TEL(03)3248-8311 / Mobile : 070-4547-7555